



明和病院だより



2017年11月号

★ 今年度の外来診療日について ★ 【勤労感謝の日:11月23日(木)】 通常診療日とします。

(1) 医師から皆様へ 〈 乳がん検診を受けましょう! 〉

乳がん検診は40歳以上であれば、少なくとも2年に一度は受けてください。

「これまで病気になると思わなかった。」そう言って当院を受診される方が非常に多く見受けられます。はたして、自分はがんにならないのでしょうか。現在、日本人女性の3人に1人はなにかしながんに罹患されます。その中で乳がんになる方がもっとも多く、11人に1人の方が乳がんになるとされています。しかし、乳がん検診を受診される方は特に全国では兵庫県が少なく47都道府県中44番目、県内では西宮市は41市町村中33番目で少ないのです。「自分はがんにならないと思うし、なっても乳がんは触ってわかるから、自分で見つけられる。」そう思っておられる方がこの地域では多いのかもしれませんが、確かに、がんはほっておくとどんどん大きくなっていきますから、いつか気付くでしょう。しかし、自分で気が付くころには進行がんになっていることが多いのです。手遅れでなくても進行していれば、治すのにも再発を予防するのにもとても時間と手間がかかります。抗がん剤治療を何ヶ月もしたり、放射線をあてたり、大きく取らないと治らなかつたりします。乳がんは早期発見すれば治りやすく再発も少ないです。検診では転移しない超早期でみつかることもあるのです。

「それでも、乳がん検診を受けるのが恥ずかしい。」という方もおられます。安心してください。当院の検診ではすべて女性の放射線技師がマンモグラフィを撮影し、女性の検査技師が乳房超音波検査をおこないます。基本的には女性医師が視触診をおこなっています。ただ、乳がん検診はどこ施設で受けても同じではありません。適切なマンモグラフィ撮影技術と高度な読影能力が要求されます。当院では日本乳がん検診精度管理中央機構でA認定の資格を取得した技師が中心となって撮影をおこない、同じくAS認定の医師が読影をおこなっており、非常にレベルの高い検診を受けていただくことができます。またオプションですが、マンモグラフィよりもさらに詳しく診断できるトモシンセシ



スという、全乳房を重ねりのない1mm厚の連続断層画像で撮影する方法を追加して受けていただく事も出来ます。

乳がんは40歳台という子育てや仕事で活躍されておられる世代がもっとも多く、その後は70歳台以降でも多いがんです。是非乳がん検診を受けて、乳がんで悲しまなくてもよい安心した暮らしをお過ごしください。
外科 乳腺・内分泌担当部長 岸本 昌浩

(2) 健康講座のお知らせ ※無料、参加自由

- ・演 題 : それって、ほんま？
糖質制限食は死亡が増える？
- ・講 師 : 非常勤医師 谷田 憲俊
- ・日 時 : 11月30日(木) 14:00~14:50
- ・場 所 : 明和病院 南館5階 明和ホール東



(3) 医療講座(公民館主催)のお知らせ

- ①・演 題 : 耳のはなし
・講 師 : 耳鼻咽喉科医長 奥中 美恵子
・日 時 : 11月1日(水) 14:00~15:30
・場 所 : 学文公民館(Tel41-6050) ※無料(参加自由)
- ②・演 題 : 乳がん検診について マンモグラフィってどんな検査？
・講 師 : 外科 乳腺・内分泌担当医長 松之木 愛香
放射線部技師 増田 奈々子
・日 時 : 11月14日(火) 14:00~15:30
・場 所 : 中央公民館(Tel67-1567) ※無料(参加自由)



(4) 明和病院ラジオコーナーのお知らせ♪



ラジオ大阪(AM1314・FM91.9)にて、毎週土曜日午前7時15分から『桑原あずさの as life(アズライフ)』内で明和病院の職員が出演するコーナー“ワンポイントホスピタル”が放送中です。番組は心とからだの健康をテーマとした内容になっておりますので、是非ご聴取ください。

【11月放送予定】※番組内容は、都合により予告なく変更する場合があります。

放送日	出演者	テーマ
4日	内科主任部長・総合健診センター長 岸 清彦	・健診・ドックって いつ受けたらいいの？
11日	歯科口腔外科部長 末松 基生	・お口の病気、歯の病気
18日	皮膚科部長・にきびセンター長 黒川 一郎	・にきびについて
25日	形成外科部長/ 蔡 顯眞	・形成外科と私の関心領域